

令和 8(2026)年度入学者選抜 入学試験問題「歴史総合 日本史探究 世界史探究」出題意図

■ 全体

共通問題と選択問題で構成されている。共通問題では「歴史総合」を軸に、日本史と世界史を横断的に捉える力を問う。全体としては、近代以降の歴史の流れや社会の変容を総合的に理解しているかを重視する内容となっている。選択問題は、「歴史総合」「日本史探究」「世界史探究」から 1 分野を選択する形式とし、より専門的な理解と表現力を評価する。

■ 問い方

空欄補充、正誤判定、論述といった多様な形式を通して、多角的に力を測るものである。特に正誤判定問題では、用語の正確な理解に加え、時代背景や歴史的事件の因果関係を的確に判断する力を求めている。選択問題の論述問題（100 字以内）では、指定されたキーワードを活用し、歴史の流れを整理して論理的かつ簡潔に説明する力を評価する。

■ 出題意図

日本史・世界史を分断せず、相互の関連性の中で歴史を理解する姿勢を重視している。また、身近な出来事と歴史上の出来事のつながりを意識し、歴史を過去の知識としてだけでなく、現在を深く理解するための視座として捉える力を求めている。その上で、教科書レベルの基礎知識を確実に身につけ、それをもとに出来事の因果関係や背景を深く考察し、自らの言葉で表現できる力を測ることを目的としている。単なる用語の暗記にとどまらず、歴史の構造を捉える総合的な思考力と表現力を評価する。